ロイニ強ニ強サルカ如ク而シテ同盟罷業ハ本日ノ場合ニ於テハ最モ有効ナル手段ナリトスベキモノナリ

其ノ理由ニ三箇月ハ四箇月ノ長期ニ亘ル罷業ハ今ノ場合ニ於テハ最モ有効ナル手段ナリトスベキモノナリ

然ルニ日本ニ於テハ一日ニ十時ノ長時間ノ就業ヲ行ヒ賃金ハ一箇月ニ一回ニ過ギサル程ノ微少ナル賃金ヲ以テ一箇月ノ生活ヲ為サシメ一年本家ノ為ニ繭ヲ造ラシメ繭ノ値段ノ騰貴スルトキハ其日本家ハ直チニ賃金ノ増加ヲ拒ミ或ハ工場ヲ閉鎖シテ罷業ヲ行ヒ強ヒテ賃金ノ減少ヲ強ヒ

第四篇　書永吉　著

東京　博文館

〈中略〉

ヌルガ如ク

我等ハ此紡績資本家ノ暴虐ナル壓迫ニ對シ斷然闘争ニ次グ



加ヘラレツヽアル過重勞働ノ強制等ト紡績勞働者ノ生活ニハ幾重層ノ迫害ガ加ヘラレツヽアル

我等ハ此紡績資本家ノ暴虐ナル壓迫ニ對シ斷然闘争ニ次グニ闘争ヲモッテ粉碎シナクテハナラン

闘争ノ目標

一、深夜廢止當時ノ除外例ニ依ル工場法以外ノ一時間就業延長ノ取消シ

二、操短ニ依ル收入減ノ反對

三、解雇反對

四、強制退職反對

五、休日增加反對（收入減ヲ加味スルガ故ニ）

六、操短ニ依ル片番制ノ絶對反對

七、八時間制勞働ノ實施

實行ノ方法